

令和2年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和2年10月20日(火) 開会 午後3時00分 閉会 午後5時00分		
2 場所	寒川第2庁舎203会議室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	安藤 正倫
		委員	徳田 二三男
			得丸 慶子
			廣瀬 強
	多田 俊		
	事務局	西尾 由香	
		教育部長	中野 敏記
		教育総務課長	谷 訓昌
		学校教育課長	富田 克美
学校教育課主幹		永坂 邦彦	
生涯学習課長		細川 史朗	
幼保こども園課長		多田 千稔	
人権推進課長		山田 謙二	
	教育総務課係長	佐藤 理絵(会議録調製者)	
その他説明等のため出席した者		なし	
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 令和3年度における当初予算編成に向けた方針について (2) その他		
5 特記事項	傍聴人 無し		
6 会議内容	開会		
教育部長	ただ今から、令和2年度第2回さぬき市総合教育会議を開会いたします。 なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項に基づき、総合教育会議は原則公開とされておりますが、今回の会議では、傍聴人はいません。 開会に当たり、市長から御挨拶を申し上げます。		
市長	(挨拶)		
教育部長	続いて、教育長から御挨拶を申し上げます。		
教育長	(挨拶)		
協議・調整事項			
教育部長	それでは、協議・調整事項に入ります。さぬき市総合教育会議運営規程第3条の規定に基づき、協議・調整事項について、ここからの議事進行は、市長に		

	<p>お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、議題に入ります。</p> <p>議題1は、令和3年度における当初予算編成に向けた方針についてということで、委員の皆さんと議論を進めていきたいと思っており、皆さんからの個別意見や要望は後ほど伺いすることとして、はじめに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、早期実現に向かってより加速しているGIGAスクール構想について、皆さんの御意見をお聴かせください。</p>
<p>教育委員</p>	<p>GIGAスクール構想によって、児童生徒に一人一台の端末環境が実現すれば、今まで以上に児童生徒の実態を十分に反映させながら授業を進められるようになるはずです。今後の学校教育を考えたときには、この構想は非常に重要な取組だと思えます。今回の新型コロナウイルス感染症等の流行で、学校が突然休校となってしまったわけですが、その中でも最低限の教育活動を維持していくために、こういったデジタル機器の活用等は必要不可欠で、これからもどんどん発展していかなければならないものと考えます。</p> <p>ただ、そればかりに振り回されるのではなくて、学校の本来の目的というのは、子どもたちが社会へ出てから一人前に生きていけるようにするための準備を行う場だと思うので、学校内でたくさんの人との関わり合い、その中で自分を磨き、自分を成長させていくということがとても意義深いものだと思います。ですから、GIGAスクール構想が完全に実現されたとしても、古くから学校教育の中で大切にされている、子どもたち同士で切磋琢磨する場面なども重んじながら、教育活動を行っていかねばいけないと考えます。あくまで、GIGAスクール構想にある一人一台のデジタル端末環境というのは、最低限の教育活動を進めていくうえでの手段であると私自身は捉えています。</p>
<p>教育委員</p>	<p>GIGAスクール構想については話題になっているため、名前は聞いたことがあるけれども、その中身については、あまりよく理解していないという保護者が多いと思います。保護者としては、これから子どもたちに対して一人一台のパソコンが整備されるのだなという認識程度ではないでしょうか。</p> <p>そのような中で私が一番心配していることは、子どもたちが一人一台のパソコンを持って、授業がうまく進むのかということところです。先生一人に対して、子どもが二十人近くかそれ以上いるわけなので、その中で先生が画面を見ながら授業を進めるという体制が、一人ひとりの進度に果たして沿うことができるのかということが気になります。整備された端末をどう活用していくのが、今後の課題でしょう。</p>
<p>教育委員</p>	<p>GIGAスクール構想で気になったのは、その端末をどのように管理・運用していくのかということです。今は、各学校のパソコン教室にパソコンがあり、授業で用いるとしてもパソコン教室の中だけで使用するの、管理もしっかりしています。これが、今後教室で使うとなれば、どのような方法で管理するのか気になります。</p> <p>それから、今後はデジタル機器等を自由自在に使いこなせる能力ということも大事になってくると思うので、その辺りも含めて子どもたちに教育していく必要がありますが、それが今後の主になってしまうことは少し心配です。これま</p>

	<p>で行ってきたような昔ながらの授業とパソコンを使った授業のバランスを検討しながら、両者のメリットがより生かせるようになればいいなと思います。そのためにも、教職員のICT活用スキル向上につながる研修を是非充実させてほしいです。</p>
教育委員	<p>私たちの生活の中で、インターネットや各種デジタル機器等は、もう既に欠かせないものとなっています。そういった環境で子どもたちは成長しているため、インターネットやパソコン等をうまく利用しながら生活していく能力や技術、いわゆる情報リテラシーを社会に出るまでに絶対に身に付けておく必要があります。そういったことを学校でしっかりと学ぶことは、非常に大切です。</p> <p>あわせて、情報モラル教育もしっかり行わなければいけません。インターネット等の掲示板への悪質な書き込み、メール・LINE等によるネットいじめやネット・ゲーム依存症なども、近年問題となっています。小さいうちから情報モラルについてしっかりと学ぶことで、子どもたちが自分で判断し行動することができるようになるはずですよ。</p> <p>だからこそ、積極的かつ柔軟な対応でGIGAスクール構想を進めていくことが重要ではないでしょうか。</p>
市長	<p>分かりました。</p> <p>次の委員、お願いします。</p>
教育委員	<p>私も、どうやって端末を利用していくのかということについて、ルールを適切に設定したうえで利用するべきだと思います。</p> <p>また、GIGAスクール構想が実現され、オンライン授業等の整備が進めば、今まで学校に来られなかった子どもたちが、オンラインを通じて学校の授業に参加できるようになる可能性もありますし、そういった選択肢が増えるという点で、すごく期待しています。ただ、今年度、オンライン授業をメインで行っている大学等では、退学者が増えているということも問題になっているようなので、授業全てをオンライン授業に切り替えてしまうのはどうかと思います。通常の授業の中で、デジタル機器等をうまく活用しながら、オンラインを利用して、他の県の子どもたちと交流するなど、様々な手段として使うのは非常に魅力的だと感じます。</p>
市長	<p>GIGAスクール構想によって児童生徒に一人一台の端末環境が実現すれば、その端末を使うのは、教室の中を想定しているのですか。</p>
教育長	<p>ひとまず現段階では、授業の中で使用することを想定していますが、夏休み等の長期休業中に持ち帰り、各家庭での補充学習に活用することも可能になると考えています。</p> <p>それから、先ほど委員から意見のあった不登校の子どもたちに対するオンライン授業というの、今後十分に検討していく必要があると思っています。</p>
市長	<p>コロナ禍が落ち着いて、再びこれまでのような学校生活に戻ったとしても、GIGAスクール構想を今進めていく意味は必ずあるはずですよ。学校に通うことが難しかった子どもたちが、デジタル機器等の活用をきっかけに、勉強することに興味を持ったり、自分の世界を広げていこうとしたりすることにつなが</p>

	<p>れば、非常に喜ばしいことだと思います。</p> <p>来年の4月以降、一人一台端末を活用した授業というのは、どのように行われるのでしょうか。</p>
教育長	<p>今年度、教育委員会では、デジタル機器等を活用した来年度以降の授業形態について、どのような方法が良いのかということについて、分析を行ったり、研修を行ったりしており、その結果を踏まえて今後の授業に活用させる予定です。</p>
市長	<p>分かりました。</p> <p>先ほど委員からも情報リテラシーや情報モラル等の話が出ましたが、こういったことも学校で教えるようになりますか。</p>
教育長	<p>それは非常に大切なことなので、もちろん学校で教えますが、学校の授業だけではなくて、学校と家庭とが連携して教えていくことが、子どもたちにとっては大変有益ではないかと考えています。</p>
市長	<p>GIGAスクール構想の実現に向けて今年度の補正予算でも対応していますし、ハード面では環境が十分に整いつつあると思われていますが、ソフト面ではどうですか。教職員の皆さんは、今後の取組方について不安に感じていることはありませんか。</p>
教育長	<p>不安はもちろんあると思います。デジタル機器等を活用したいという意欲はあっても、実際にそれを活用した授業の実践につなげるのは難しいことだと思います。しかし、そういった不安を取り除くために、今後の学習環境の変化に即した指導研修等を充実させていくことがとても重要だと私も感じています。</p>
市長	<p>議題1の前段として、GIGAスクール構想についてお聴きしましたが、今後も教育の様々な場面において、日進月歩しているデジタル化社会への対応が次々と求められるようになると思われています。教育委員会の中でも、引き続き、一層の議論を深めていただけたら有難いです。</p> <p>では、議題1の本題に入ります。来年度当初予算編成に向けた方針について、いろいろな御意見をお聴きしたいと思いますので、皆さん順番によろしくお願いします。</p>
教育委員	<p>私は、全般的な予算に対する意見ではなく、日頃感じていることを発言させていただきます。</p> <p>個人的な意見ですが、幼稚園と保育所は、こども園に早く移行してほしいという思いがあります。先日、さぬき北幼稚園の幼稚園訪問に行きましたが、総園児数が非常に少なく、周りの先生方の数が多いのではないかと印象を受けたほどです。昔と違って、専業主婦の方が減り、日中は仕事に出かけている保護者が多いので、幼稚園ではなくて保育所を選択する家庭が多くなっています。幼稚園でも、質の高い幼児教育が行われているのに、園児数が集まらないというのは、とても残念に思います。</p> <p>そうであれば思い切って、さぬき市では、3歳以下は保育所、4歳以上は幼稚園と決めて、それらをまとめてこども園として運営することはできないのでしょうか。既存の建物を利用しながら、3歳までは保育、4歳からは幼児教育</p>

	<p>として、加えて預かり保育も利用できるというような形態にすれば良いと思います。このままでは、さぬき市の幼稚園は衰退していく一方だと危惧しています。</p>
市長	<p>次の委員、引き続きお願いします。</p>
教育委員	<p>教職員の働き方改革については、教職員の長時間労働がやはり常態化していると考えられるので、その業務負担を軽減するためのスクールサポートスタッフを全学校に配置してもらえると、大変有り難く思います。</p> <p>また、文化財保護事業では、文化財の保護・活用等の取組をより積極的に行うことで、自分たちの住むさぬき市を誇りに思えるというきっかけにもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>それから、先ほど委員が言われていたように、共働き世帯の増加の影響等で、保育所やこども園に子どもを預ける家庭が増えているのは、確かにそのとおりだと思います。子ども・子育て新制度が昨年度から開始され、量と質の両面から子育てを支援することがますます求められているので、公立・私立を問わず、また、幼稚園・保育所・こども園の先生方が一緒になって活発に交流し、研修等の機会を充実させることで、その質がより向上することになると考えます。</p>
教育委員	<p>以前にも発言したことがあります。配慮を要する子どもたちへの対応に、どの学校も苦慮されているようです。子どもたちを支援する体制を充実するために、特別支援教育支援員は、これまでも十分に配置されていますが、来年度も引き続き配置を充実させていただきたいです。</p>
教育委員	<p>私は、長尾小学校の改築事業について、特に関心を寄せています。保護者の立場としても、長きにわたって要望してきたものなので、この事業が円滑に進めばすごくうれしく思います。</p> <p>それから、コロナ禍で子どもたちも家に籠ることが多くなっていると思うので、子どもたちが思いっきり外で遊べるような公園等の施設や場所をより充実させるための予算を取ってほしいです。</p>
教育委員	<p>私も、長尾小学校の改築は、急務であると感じています。私が小学生であった頃には、長尾小学校の校舎はもう既に使い込まれた状態であったと記憶しています。市内の他の小学校との教育格差という点で考えてみても、やはり早急に取り組まなければいけないと思います。また、改築事業を進める際には、学校に関わる児童・教職員・保護者等の要望をできるだけ聴いたうえで、計画に反映できる部分は積極的に反映させてほしいです。</p> <p>それから、冒頭の市長挨拶の中でも話がありましたが、市民の安全・安心に関連して、学校で準備している防災頭巾についてです。市内の小中学校を訪問する際に、防災頭巾を準備している学校と、準備されていない学校があることが気になりました。大地震が起こったときに、命を守れるような防災頭巾を学校単位で準備するというのは、非常に大切だと思います。子どもたちが学校にいるときの子どもたちの命は、学校が責任を持って守らなければなりません。予算の面で難しいのかもしれませんが、是非検討してほしいです。</p>

<p>市長</p>	<p>皆さんから、一通り御意見をお聴きしました。</p> <p>まずは、幼稚園と保育所についてです。これは、簡単なようで、なかなか難しい問題です。昨年4月からさぬき市では、津田こども園が開園していますが、実際の現場では、幼稚園と保育所がうまく融合しきれていない部分があるようです。その原因というのが、やはり様々な行政の制度が、サービスを提供する私たち側から組み立てられているということに起因すると私は思っています。行政サービスを受けられる市民の皆さんからすれば、保育や幼児教育という意識はほとんど持たずにサービスを受けられているのではないのでしょうか。市民の皆さんは、ただ単に自分が必要とするサービスを受けただけだと思います。サービスを受ける側からの視点に立った制度設計が十分にできれば、サービスをより充実させることができるはずです。</p> <p>だから、国が行政改革の一環として縦割り行政を本気で廃止しようというのであれば、厚生労働省と文部科学省が早く統一されるべきだと私は思います。そうしないと、結局いつまで経っても、形は変わっても内容が変わらないということになりかねません。</p> <p>幼稚園に入園する子どもの数は、実際に減ってきているのですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、そのとおりです。</p> <p>現在、市内で就園率が一番低い幼稚園だと、約30パーセントの就園率になっています。</p>
<p>市長</p>	<p>その就園率というのは、幼稚園の定員に対して、その幼稚園に通っているこどもが約3割という意味ですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>定員に対してではなくて、その地区に住む就園年齢にある子どもたちの人数に対しての割合です。約3割の就園率ということは、残り7割の子どもたちが、私立等その他の施設を選択しているということになります。</p>
<p>市長</p>	<p>それは、やはり夕方遅くまで子どもを預かってもらえるという保護者のニーズが高くなってきているから、それに対応している私立が選ばれているということなのでしょう。</p>
<p>教育長</p>	<p>社会の要請もあり、女性の労働力というのが非常に重要になっていますので、遅くまで子どもを預かることのできる施設の需要は高まってきています。そういった需要にいち早く対応したのが私立の施設で、公立の施設でも、私立に追随する形で柔軟に対応するようになってきています。</p>
<p>市長</p>	<p>公立・私立を問わず、保育所と幼稚園の在り方については、今後も引き続き検討する必要があることはよく分かりました。</p> <p>では、続いて、委員から意見のあった文化財の保護・活用等の取組についてですが、全国的に見れば、さぬき市といえば、四国霊場八十八箇所の上がり三箇寺や平賀源内だとは思いますが、しかし、もっとマニアックに、例えば古墳などに焦点を絞ってもおもしろいと考えます。万人受けはしないかもしれないけれど、興味のある方からすれば聖地のようなものになるかもしれません。古墳は一例ですが、その地域独自の遊び場のようなものを作って、それが地域外からの交流人口を呼び込めるようになればいいなと私は考えています。</p>

	<p>また、四国霊場八十八箇所の上がり三箇寺に関連して、前山におへんろ交流サロンがあります。規模的には小規模ですが、四国霊場八十八箇所について、あれほど熱心に展示している施設というのは、四国中を探してみても、さぬき市のおへんろ交流サロンだけだと私は自信を持っています。ですから、もっと展示場所を広げることも検討する必要があると思っています。その際には、おへんろ交流サロンと地理的にも近い、旧前山小学校の施設の一部を活用させて施設を充実させることなども考えていきたいです。</p> <p>それから、幼稚園と保育所の話の中でも委員から発言のあった質の向上についてです。やはり、人口減少が著しいさぬき市のような自治体では、量ではなかなか勝負ができないので、質の維持・向上が大切になってくると思います。だからといって、背伸びをして質の良さをばかりを追求すると、結局できないという結果を招く可能性もあるので、「今よりも一つ上の質の良さ」をキャッチフレーズに、今後ますます様々なことにチャレンジしていきたいと考えています。</p> <p>そして、市民の皆さんの安全・安心に関することについては、予算の中でも常に最優先事項であると思っています。委員から御意見のあった各学校での防災頭巾の準備についても、非常に大切な取組の一つであると考えます。</p> <p>では、これまで出していたいただいた意見とは別の内容について、各委員から御意見をお伺いします。</p>
<p>教育委員</p>	<p>デジタル化社会も含めて、今、世の中がどんどん変わってきており、それぞれの価値観も変わってきていますが、そういう中であっても、絶対変わってはいけないものがあると思います。</p> <p>私は、その一つとして、やはり道徳教育が挙げられるのではないかと考えています。学校現場では、子どもたちに道徳を教えていくに当たり、様々な資料や活動を通して、工夫しながら伝えようと努力しています。しかし、その道徳教育の大切さを意識していない保護者が多いように感じます。道徳教育というのは、学校と家庭とがお互いに協力しながら行っていくことがとても重要だと考えますが、両者の意識に微妙なずれがあると、子どもたちに道徳の大切さを伝えていくことも非常に難しくなります。学校でも、道徳教育に焦点を当てた保護者参観を開催したり、月に一度は道徳の日を設定して、各家庭にお便りを配付したり、いろいろな取組を行っていますが、そういった積極的な取組をもっと増やしていくべきではないかと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>次の委員は、どうですか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>改めて考えてみると、さぬき市には、津田の海でカヌーができたり、南川少年自然の家があったり、いろいろな体験活動ができる施設や場所が結構あります。</p> <p>市内の小学校では、高学年になると集団宿泊学習に行きますが、みんなが一つの施設に行くのではなくて、目的ごとに別々の場所に行くのもいいと思います。そのときに、さぬき市内の施設をもっと活用してみてもどうでしょうか。もちろん、市外の素晴らしい施設を利用するのも一案ですが、自分たちの住むさぬき市のことをもっと知るために、市内の施設の利用を促進するのはすごく</p>

	良いと思います。
教育委員	<p>私は、飛翔の館の活用についてです。</p> <p>あまり使われてない印象を受けますが、あそこは音楽的に見ても、響きがすごく良いと聴いたことがあります。</p>
市長	飛翔の館の中で演奏をすれば、音の反響も良いのですか。
教育委員	<p>そのようです。</p> <p>だから、小さな施設ではありますが、ちょっとした発表ができるようにすれば、小規模の発表会等にも利用できて便利だと思います。せっかく素晴らしい施設なので、何かの形で活用できたらいいなと思います。</p> <p>また、旧鶴羽幼稚園の施設についてですが、前にも発言させていただいたことがあります。国指定の古墳のビジターセンターのような施設として利活用できないかと思っています。コロナ禍にあっても、その近くのドルフィンセンターには県内外からたくさんのお客さんが訪れていますので、そのドルフィンセンターとセットで集客が見込めないかと考えます。市内の小学生が、地元の古墳について勉強する際にも、非常に活用できる施設になるはず。是非検討していただきたいです。</p>
教育委員	<p>先ほど、文化財のことについて触れていましたが、例えば、大川町にある茶臼山古墳では、みろくの道の駅の前に設置されている歩道橋から茶臼山古墳を見ると、古墳が一望できるビューポイントがあり、バスで見学に来られる方もいるほどです。市長が言われていたように、古墳ファンの人たちはたくさんいますから、知る人ぞ知るという場所をうまくつなげられたら、さぬき市を訪れる人ももっと増えると思います。</p>
教育委員	<p>これまでの話に重なる部分もあるのですが、古墳にしても、幼稚園にしても、今さぬき市で行われている各種周知というのは、市のホームページやケーブルテレビを通じたお知らせがほとんどだと思います。しかし、今はもうインスタグラムやツイッターといったSNS等で情報を入手する人が非常に増えてきています。特に幼稚園に関しては、若い保護者の方は、さぬき市のケーブルテレビはまず見ていないのではないのでしょうか。本当に宣伝しようとするのであれば、これから幼稚園への就園を検討している、幼稚園の情報を本当に求めている人に訴えるような、ターゲットを絞った宣伝をしてほしいと思います。</p> <p>また、古墳に関しても、すごくマニアックな人は日本全国にいるわけで、そういった人はSNS等でつながっていることもあるので、宣伝を効果的に活用すれば、成果はかなり違ってくるはず。です。</p>
市長	<p>先日開催された市議会でも、同じように、ウェブをもっとうまく使ってさぬき市を盛り上げていくことはできないかという話が出ていました。ウェブを活用すれば、日本に限らず、世界に向けて情報を発信することができますから、より一層検討していかなければいけません。</p> <p>それから、飛翔の館については、壊したらどうかという意見も私の耳に入ってきている中で、非常に貴重な意見をいただきました。あの非常に独特なデザインの施設なので、完成当初から雨漏りが発生したり、使い勝手が悪い部分も</p>

	<p>あつたりしたようですが、委員からの意見を聴くと、音楽的に非常に素晴らしい施設なのはよく分かりました。そう考えると、まだまだ活用させないといけないう気がしています。</p> <p>それから、学校では、修学旅行とは別に宿泊学習があるのですか。</p>
教育長	<p>集団宿泊学習というのがあります。</p>
市長	<p>それは、どこへ行くのですか。</p>
教育長	<p>屋島少年自然の家か、五色台少年自然の家へ行きます。</p>
市長	<p>では、候補地の一つとして、市内にある南川少年自然の家の活用も、是非検討してほしいです。</p> <p>それから、道徳教育というのは、一応科目としての取扱いになりましたが、いつからですか。</p>
教育長	<p>昭和33年の学習指導要領の改訂により、昭和34年から道徳の時間が特設されたのですが、特別な教科として導入されたのは今年度からです。</p>
市長	<p>今年からですか。</p>
教育長	<p>はい。それで、教科になったら難しくなるのが、その評価です。子どもたちの道徳への理解や関心をどのように評価し、どのように保護者に伝えるのが、とても難しいところです。</p>
教育委員	<p>教育長の意見に加えて、道徳を教えるうえで難しいのは、先生から子どもたちへの価値の押し付けがあってはいけないので、先生もはっきりと自分の意見が言えない部分があるということです。そのような中であっても、押し付けでないけれど私が正しいと思うのはこうですよと、先生がきちんと教えないといけないと思います。</p>
教育委員	<p>私は、だめなものはだめだときっちり教えるべきだと思います。そうしないと、社会に出てから困るのは、子どもたち自身です。だからといって、それを学校で全て教えるというのではなくて、まずは家庭でしっかり教えるべきではないかという気がします。</p>
市長	<p>今の子どもたちは、怒られたときに、なぜかよく分からないけれども怒られたと感じている子が多いように思います。怒られた理由というのが、あまり分かっていないのではないのでしょうか。でも、子どもに罪はないと私は思います。怒られた理由が分からないのは、それを子どもたちが分かるようにきちんと説明できていない大人の責任だと思います。</p> <p>保護者の立場からは、どのように感じられますか。</p>
教育委員	<p>道徳教育については、保護者も先生に押し付けているし、先生も保護者に押し付けようとしていると感じます。しかし、小学校へ入学するまでに、悪いことは悪いとある程度は保護者が子どもに教えないといけないうことは確かです。子どもたちは、保護者を始めとする身近な人々の影響を受けやすいので、まずは保護者を教育することが大切だと思います。</p>
市長	<p>よく言われているように、やはり子どもは社会を映す鏡ということです。</p>
教育長	<p>私も、道徳教育においては、子どもたちを取り巻く周りの環境を整えることが一番優先されるべきだと考えます。結局子どもたちは、接した人との接した</p>

	環境の中で育っていくものだと思います。
市長	それでは、最後に教育長から、教育委員会の総括として、市に対する予算要望も含めて御意見がありましたら、発言をお願いします。
教育長	各課から来年度当初予算として要望している各項目について、十分に検討していただけると有り難いです。それによって、今後のさぬき市のために学校教育も社会教育も、より一層積極的に展開していくことができると信じています。
市長	委員の皆さんは、本日言い足りないところもあったかもしれませんが、次回の会議でまたお聴きしたいと思います。 今回の新型コロナウイルス感染症の流行は、単なる一過性のものであり、これが解決したら、全てが良くなるわけでもないし、この流行が終わったからといって全てが駄目になるわけでもないはずです。新型コロナウイルス感染症の流行に関連して、変わらないといけない部分も確かにありますが、変えてはいけない物事を子どもたちにはっきり示し、良いことは良い、悪いことは悪いということ、子どもたちにも勇気を持って教えていかなければいけません。委員の皆さんも、子どもたちにも何度でもチャンスを与えるという温かい気持ちを持つとともに、しかし毅然として接する姿勢も忘れないということをお願いして、今日の総合教育会議を閉じたいと思います。
閉 会	
教育部長	以上をもちまして、令和2年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会します。